

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	① 汚染水貯蔵 (タンク等)
御提案件名	大口径、超長尺ホースを用いた汚染水の貯留方法
御提案者	芦森工業株式会社
<p>1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p><u>特徴</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シームレス補強体を用いた高耐圧ホース</li> <li>大口径、超長尺ホースで貯留量を確保する。 (図-1 参照)</li> <li>耐外傷及び耐候性を考慮した材料を使用し、腐食や強度低下を防ぐ。</li> <li>ダブルジャケット (二重補強体) 構造</li> <li>注排水口は、金具からの漏水などを防止するための特殊設置構造 (添付図参照)</li> <li>廃棄は、ホース内部を除染することで可能。</li> </ul> <p><u>仕様/性能</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Φ1000mm × L100m～500m</li> <li>耐圧0.6MPa ・ 使用圧力0.2MPa</li> <li>ホース材料は、合成繊維、合成樹脂 (ポリウレタン) 貯留量は、添付資料参照。</li> </ul> <p><u>保有者</u> 芦森工業株式会社</p>	
<p>2. 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む)</li> <li>一般に合成繊維を用いたフレキシブルな水タンクがあるが、ホースを用いたものは見当たらない。但し、ホースも口径を大きくすればタンクとして使用出来る。</li> <li>実用化時期に関しては、他用途で同サイズのホースを生産しているので、短期間での準備が可能である。</li> <li>開発・実用化に向けた課題・留意点</li> <li>長尺化での現行可能サイズは、200mくらいで、それ以上は製造施設が必要。</li> <li>現地貯留地での使用は、長尺敷設場所が必要。</li> <li>高分子材料のため、仮設 (1年以内) での供用が望ましい。</li> <li>その他 (特許等を保有している場合の参照情報等)</li> <li>シームレス補強体を用いた大口径・長尺ホースの製造設備を保有</li> <li>シームレス補強体はφ2000まで製造可能。</li> </ul>	

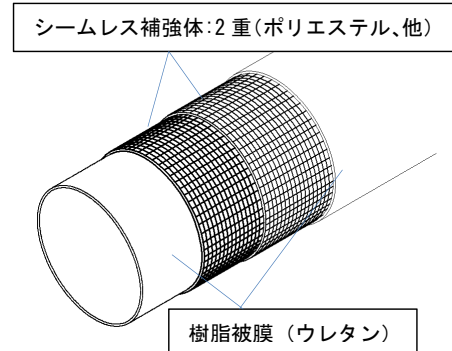


図-1 大口径ホース

(備考) 技術提案募集の内容 (6分野)

- ① 汚染水貯蔵 (タンク等)
- ② 汚染水処理 (トリチウム処理等)

- ③ 港湾内の海水の浄化（海水中の放射性物質の除去等）
- ④ 建屋内の汚染水管理（建屋内止水、地盤改良等）
- ⑤ 地下水流入抑制の敷地管理（遮水壁、フェーシング等）
- ⑥ 地下水等の挙動把握（地下水に係るデータ収集の手法、水質の分析技術等）